

高音質バナナプラグ装着。オヤイデのスピーカーケーブルの系譜、ここに極まる。

OR-800 B

オヤイデ電気のスピーカーケーブル「OR-800」、それは高純度銅のリップ線、スターカッド構造など、贅を尽くしたハイエンドスピーカーケーブルの先駆け的存在であり、実に四半世紀にわたり広くオーディオファンの心を掴みました。その後、「OR-800」は2004年に「OR-800A」へと完全リニューアル。端末にオリジナルYラグを装着し、ワイドレンジで、繊細かつ表情豊かな音楽表現にさらに磨きをかけました。そして2008年、多くのオーディオファンからのバナナプラグ装着バージョンのリリースの要望に応えるべく、オリジナルバナナプラグ「SRBN」をOR-800の極太導体に対応させるべくモディファイし、待望のバナナプラグバリエーション「OR-800B」が登場します。



導体：Class1 無酸素銅線

構造：スターカッド撲り構造

絶縁体（内部）：2重綿糸

絶縁体（外部）：照射架橋ポリエチレン

外装：ポリオレフィン

外径：15.0mm

端末：特製バナナプラグ（リン青銅）

プレーティング：銀+ロジウム

発売予定日：2008年12月10日

標準価格

JAN CODE

1.5m pr / ¥40,000- (¥42,000- 税込) 4562112768149

2.0m pr / ¥46,000- (¥48,300- 税込) 4562112768156

2.5m pr / ¥52,000- (¥54,600- 税込) 4562112768163

3.0m pr / ¥58,000- (¥60,900- 税込) 4562112768170

※ケーブル延長 0.5m 増すごとに ¥6,000- (¥6,300- 税込)

★SALES POINT★

- スピーカーターミナルへのスムーズな挿入感と、長期にわたり抜けにくい優れたホールド性を実現した至高のバナナプラグを装着。センターピンには厳密な寸法精度のクロススリットが刻み込まれ、スピーカーターミナルの内周に沿って適度なバネ性を持って密着することにより、極めて良好な面接触を実現します。
- 導体には、第1種 OFC（無酸素銅線）からなる0.12の極細撲り線を1芯あたり399本撲り合せました。1本1本にそれぞれ皮膜（UEW）処理したリップ線は、迷走電流による線間歪が発生しにくいだけでなく、表皮効果による高域特性を大幅に改善する効果があり、OR-800Bのワイドレンジでピュアな信号伝送を担う、重要なキーポイントとなります。
- 導体と接触する内部絶縁体には、振動減衰特性に優れた綿糸を採用。電気信号による自己振動や外的振動を減衰し、ノイズの一因となる電位差の激しい変化を抑制します。
- 糸絶縁体の外周には、照射架橋ポリエチレンからなる外部絶縁体を配置。これにより絶縁を徹底するとともに、硬さの違う2種類の絶縁体によって、振動の抑制を図りました。また、照射架橋ポリエチレン絶縁体は、従来のPVCに比べて、誘電率が1/4程度となり、極めて低く抑えられています。
- スターカッド構造により、外来ノイズの影響を受けにくいために、通電により導体から発生するノイズを効率よく抑制。磁束の電磁誘導で発生する起電力を芯線同士でキャンセレーションさせることにより、オーソドックスながら、確実なノイズ低減効果が得られる構造です。